農業委員報酬　236 万円
（前年度：260万円）

（担当：　農林課農地調整係）

農地利用の適正化を図り、農業振興策などについて意見をいただきます。

- 農業委員会法の改正（H28.4月施行）に伴い、新制度に移行します。
  ◎改正点
  - 委員の選出方法の変更
  - 農地利用最適化推進委員の設置
  - 農地等利用最適化の推進　等

  ○現委員
  任期：平成29年７月１９日まで
  農業委員　選挙委員　１４名
  　　選任委員　４名
  　　計１８名

  ○新委員
  任期：平成29年７月２０日から（３年）
  農業委員：８名
  農地利用最適化推進委員：８名（新設）

  236万円

財源

市の負担額	236万円

農業委員会運営費　118 万円
（前年度：98万円）

（担当：　農林課農地調整係）

農業委員及び農地利用最適化推進委員が研修等に参加します。

- 農業委員及び農地利用最適化推進委員が、研修等に参加します。
  ８６万円
- 農業委員任期満了に際し感謝状を贈呈します。
  12万円
- 新任農業委員及び農地最適化推進委員等の活動経費
  20万円

財源

市の負担額	118万円

農業者年金事務費　10 万円
（前年度：10万円）

（担当：　農林課農政農産係）

独立行政法人農業者年金基金の委託を受けて、農業者年金の加入促進を図ります。

- 農業者年金事務費　10万円

財源

その他（交付金）	10万円

農地中間管理機構集積支援事業費　120 万円
（前年度：120万円）

（担当：　農林課農地調整係）

農地の利用状況調査を行い、農地の有効利用を図ります。

- 農地法に基づき、農地利用状況調査（農地パトロール）及び農地利用意向調査を実施します。
  利用状況調査（農地パトロール）
  １１８万円
  利用意向調査　２万円

財源

国県支出金	120万円

農村研修センター運営費　58 万円
（前年度：58万円）

（担当：　農林課農地調整係）

農村研修センターの管理・運営を委託します。

- 農村研修センター指定管理費　58万円
  （滑川市農業公社へ委託）
  （指定管理期間：平成27年度～31年度）

財源

市の負担額	58万円

農村環境改善センター運営費　499 万円
（前年度：705万円）

（担当：　農林課農地調整係）

農村環境改善センターの管理・運営を委託します。

- 農村環境改善センター指定管理費
  499万円
  （滑川市農業公社へ委託）
  （指定管理期間：平成27年度～31年度）

財源

その他（使用料）	55万円
市の負担額	444万円

農業公社運営費　726 万円
（前年度：730万円）

（担当：　農林課農政農産係）

市の農業振興を図るため、市農業公社が実施する活動への助成や運営費助成を行います。

- 市農業公社への運営費助成　102万円
  市農業公社に対し、運営費の助成を行います。

- 農産品販売促進に係る事業　185万円
  市内産農産品の生産販売促進に係る活動に対し助成を行います。

- 担い手育成支援事業　17万円
  新たに農業をする方への支援、農作業体験学習（滑川中学校、早月中学校、東加積小学校）を実施します。

- 都市農村交流活性化対策事業　25万円
  キラリ農業ひかる塾の開催、ふれあい野菜耕房（体験農園）を開設します。

財源

市の負担額	726万円

農政事務費　11 万円
（前年度：153万円）

（担当：　農林課農政農産係）

農政に関する企画調査事務を行います。

- 職員研修費等　4万円
- 事務用消耗品費等　4万円
- 農政関連協議会への負担金及び会費
  3万円

財源

市の負担額	11万円

農林水産業費

多面的機能対策事業費　6,385 万円
（前年度:6,172万円）

（担当:　農林課農政農産係）

農業、農村の有する洪水防止、自然環境の保全など様々な機能(多面的機能)の維持・発揮を図るため、集落の共同活動(地域資源(農用地、水路など)の保全管理)に支援を行います。

- 農地維持支払　4,181万円
  多面的機能を支える共同活動（草刈り、泥上げなど）への支援を行います。

- 資源向上支払（共同）　1,758万円
  地域資源の質的向上（施設の軽微な補修、植栽など）を図る共同活動への支援を行います。

- 資源向上支払（長寿命化）　421万円
  農地周辺の農業用用排水路、農道などの長寿命化のための補修・更新等への支援を行います。

- 多面的機能対策事業事務費　25万円

財源

国県支出金	4,795万円
市の負担額	1,590万円

機構集積協力金交付事業費　650 万円
（前年度:1,130万円）

（担当:　農林課農政農産係）

担い手への農地の集積・集約化のために協力した農業者に対して、支援を行います。

- 経営転換協力金　620万円
  農地の所有者が、経営転換・リタイヤする場合、貸し出す農地の面積に応じ協力金の支払を行います。

- 耕作者集積協力金　30万円
  担い手が農地集積・集約化する場合、その集約面積に応じ協力金の支払を行います。

財源

国県支出金	650万円

担い手育成対策事業費　40 万円
（前年度:855万円）

（担当:　農林課農政農産係）

認定農業者の借入利子の一部を助成します。また、市担い手育成総合支援協議会に対し支援を行います。

- 農業経営基盤強化資金利子助成補助金　25万円
  認定農業者に対し、借入利子の一部助成を行います。

- 市担い手育成総合支援協議会への運営費助成　15万円
  市担い手育成総合支援協議会に対し、運営費の助成を行います。

財源

国県支出金	22万円
その他（諸収入）	1万円
市の負担額	17万円

農業技術等向上対策費　75 万円
（前年度:75万円）

（担当:　農林課農政農産係）

農業経営・技術指導等に係る各種団体に助成を行います。

- 各種団体等への補助金　75万円
  滑川市農業技術者協議会補助金
  営農指導事業強化費補助金
  米麦改良推進補助金

財源

国県支出金	26万円
市の負担額	49万円

環境にやさしい農業支援事業費　98 万円
（前年度:95万円）

（担当:　農林課農政農産係）

有機農業や化学肥料・化学合成農薬を５割以上低減した上での堆肥施用など、地球温暖化防止に効果の高い営農活動に支援を行います。

- 環境保全型農業直接支援対策交付金　88万円
  有機栽培米のほ場面積に応じて、支援を行います。
- 環境にやさしい農業支援事業事務費　10万円

財源

国県支出金	76万円
市の負担額	22万円

農業祭開催費　20 万円
（前年度:20万円）

（担当:　農林課農地調整係）

農産物品評会を開催し、生産技術の向上、品質の改善を推進します。

- なめりかわ農産物品評会実行委員会への支援を行います。　２０万円

財源

市の負担額	20万円

豊かな農村づくり推進費　1,800 万円
（前年度:1,800万円）

（担当:　農林課農政農産係）

市独自の農業活性化のための施策により、市内農業者の支援を行います。

- 優良品種奨励費（チューリップ等）　30万円
- 地域特産物生産促進費　400万円
  ①深層水を活用した農業技術等を支援
  ②里芋の生産振興に対する支援
  ③なたね、エゴマ栽培及び油生産に対する支援
- 需給調整推進費　800万円
  ①米の需給調整に向けた取組みへの支援
  ②集約的作付（大豆・大麦）を支援
  ③野菜生産拡大に対する支援
- 品質向上対策費　360万円
- 心豊かなまちづくり推進費　3万円
- 市産市消促進対策費　82万円
- 学校給食地場産食材供給促進費　125万円

財源

市の負担額	1,800万円

中山間地域等対策事業費　7,557 万円
（前年度:7,788万円）

（担当:　農林課農政農産係）

農業の生産条件が不利な中山間地域等における農業生産活動の継続を支援します。

- 中山間地域等直接支払交付金　7,527万円
  中山間地域の14集落に対して、支援を行います。
- 中山間地域等直接支払推進交付金　30万円

財源

国県支出金	5,032万円
市の負担額	2,525万円

生産調整対策事業費　540 万円
（前年度:570万円）

（担当:　農林課農政農産係）

農業者の経営所得安定対策への加入等の事務を行うアルプス地域再生協議会に対し、助成を行います。

- 経営安定所得対策推進指導費　498万円
  アルプス地域再生協議会へ助成を行います。
- 生産調整対策事業事務費　42万円

財源

国県支出金	540万円

元気とふれあいの学校給食づくり事業費　60 万円
（前年度:60万円）

（担当:　農林課農政農産係）

地産地消を図るため、地場産食材の学校給食への活用を推進します。

- 元気とふれあいの学校給食づくり事業　60万円
  ①市地場産食材活用推進協議会の運営
  ②地元食材の計画提供、特別給食の日の施
  ③生産者等と児童・生徒との交流
  ④その他地元食材の活用推進

財源

市の負担額	60万円

未来につなぐ「農」と「食」普及啓発事業費　57 万円
（前年度:52万円）

（担当:　農林課農地調整係）

地域における食育を推進するため、子どもたちが地域住民と一緒になって農作業や調理を体験する講座を開催します。

- 未来につなぐ「農」と「食」普及啓発事業　57万円
  ① 農作業や調理等を体験する講座を開催します
  　夏秋野菜、よもぎ、じゃがいも、枝豆、そば、りんご、冬野菜、梅干し、里芋　など
  ② 教育ファーム
  　年間を通じ、野菜栽培を体験します。

財源

国県支出金	28万円
市の負担額	29万円

地産地消推進事業費　45 万円
（前年度:47万円）

（担当:　農林課農地調整係）

地産地消を推進するため、滑川産野菜等地元食材を活用した事業を実施します。

- 地産地消推進事業　45万円
  ① 第8回滑川産食材を使った一品料理コンテストを開催します。
  ② 「キラリン・ピッカの食育講座～なめりかわ地産地消とれたてランチ～」を開催します。
  ③ 野菜づくり講習会を開催します。
  ④ 地産地消推進の店認定制度事業を実施します。
  ⑤ 滑川産食材を食の王国フェスタにおいてＰＲします。
  ⑥ 学校給食米粉食品利用助成事業
  　学校給食における米粉食品の利用促進を図るため、経費の一部を助成します。

財源

その他（負担金）	2万円
市の負担額	43万円

鳥獣被害防止総合対策事業費　590 万円
（前年度:638万円）

（担当:　農林課農政農産係）

有害鳥獣の捕獲等による個体数調整、侵入防止柵の設置等により、人や農林水産業への被害防止対策を実施します。

- 市有害鳥獣対策協議会が行う被害防止活動への支援　373万円
- 侵入防止柵の整備助成　150万円
- クマ緊急パトロール業務委託　45万円
- 鳥獣被害防止総合対策事業事務費　22万円

財源

国県支出金	23万円
市の負担額	567万円

有害虫等駆除対策事業費　46 万円
（前年度:52万円）

（担当:　農林課農地調整係）

アメリカシロヒトリ等の駆除に対して支援を行います。

- 防除機修繕料等　４４万円
- 薬剤購入費　２万円

財源

市の負担額	46万円

園芸振興対策費　43 万円
（前年度:43万円）

（担当:　農林課農政農産係）

果樹・野菜・花卉の振興を図るため、果樹振興協会等への助成を行います。

- 果樹振興協会等への助成　42万円
- 園芸振興対策事務費　1万円

財源

市の負担額	43万円

人・農地プラン事務費　5 万円
（前年度:5万円）

（担当:　農林課農政農産係）

集落・地域が抱える人と農地の問題を解決するための「未来の設計図」となる「人・農地プラン」を更新します。

- 「人・農地プラン」更新事務費　5万円

財源

国県支出金	2万円
市の負担額	3万円

土地改良対策事業費　2,871 万円
（前年度:3,385万円）

（担当:　建設課　農地治山係）

国・県が実施する土地改良事業について一部負担を行ったり、土地改良区が実施する事業に対し支援します。

・県営土地改良事業分担金　2,701万円
　国営造成施設管理体制整備促進事業（早月川地区）　17万円
　県営造成施設管理体制整備促進事業（魚津地区）　11万円
　県営農地整備事業経営体育成型（中加積南部地区）　2,200万円
　県営経営体育成基盤整備事業（滑川東部2期地区）　473万円

・滑川市土地改良事業補助金
　小規模災害補助事業（市内全域）　60万円
　　（直接工事費の1/2補助）
　パイプライン補修費補助（東加積、山加積）　80万円
　　（補修費の1/2補助、限度額10万円）
　滑川市土地改良協議会運営費補助　12万円

財源

市の負担額	2,871万円

農業用施設等整備事業　60 万円
（前年度:60万円）

（担当:　建設課　農地治山係）

農道等の施設の修繕を行います。

・水路等、補修要望箇所の修繕費用　60万円

財源

市の負担額	60万円

手づくりで住みよい村づくり事業費　200 万円
（前年度:200万円）

（担当:　建設課　農地治山係）

町内会に対し、農道や用排水路等の整備に必要なコンクリート二次製品等の原材料を50万円を限度として支給します。

・原材料支給　200万円

財源

市の負担額	200万円

農地事務費　20 万円
（前年度：　15万円）

（担当：　建設課　農地治山係）

農地全般に必要な事務を行います。

- 農村環境検討委員会委員報酬　3万円
- 各種協議会負担金等　14万円
  - 農業農村整備推進部会分担金
  - 県土地改良事業団体連合会賦課金
  - 県農業用小水力利用推進協議会会費など

財源

市の負担額	20万円

農業集落排水事業特別会計繰出金　7,156 万円
（前年度：6,980万円）

（担当：　上下水道課下水道総務係）

農業集落排水事業特別会計において、使用料や借入金などの収入で賄いきれない経費に充当するための財源として、市の一般会計から資金を繰り出します。

- 農業集落排水事業特別会計繰出金　7,156万円

財源

市の負担額	7,156 万円

造林維持管理費　6 万円
（前年度：6万円）

（担当：　農林課農政農産係）

市が所有する森林（市有林、市行造林）の保育管理を実施します。

- 市有林、市行造林の管理者手当　6万円

財源

市の負担額	6万円

林道維持管理費　162 万円
（前年度：132万円）

（担当：　建設課　農地治山係）

通行に支障がある雑木の伐採、除草業務、側溝の機能回復を図るなど、林道の管理を行います。

- 林道大林谷線雑木伐採業務委託
  （実施面積500㎡）
- 林道東福寺線側溝内堆積土除去工事
  （延長60m）
- 除草等管理委託

財源

市の負担額	162万円

農林水産業費

森林ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ等育成支援事業費　34 万円
（前年度：31万円）

（ 担当：　農林課農地調整係）

花とみどりの少年団の活動支援、林業関係団体への助成を行います。

- 花とみどりの少年団活動費助成　１４万円
- 林業関係団体への負担金　１６万円
- 全国植樹祭記念植樹開催経費　4万円

財源

その他（助成金、負担金）	7万円
市の負担額	27万円

水と緑の森づくり事業費　351 万円
（前年度：162万円）

（ 担当：　農林課農政農産係）

「水と緑の森づくり税」（県税）を財源とした里山整備事業を実施します。

- 里山再生整備事業　281万円
  地域や生活に密着した里山の再生整備を住民と協働で推進します。
- 森林病害虫等枯損木除去業務　56万円
  里山林や主要道沿線等の松くい虫被害木を伐倒し、景観悪化や倒木被害を防ぎます。
- みどりの森再生事業　14万円
  人工林の広葉樹との混交林化を推進し、森林の公益的機能の維持・向上を図ります。

財源

国県支出金	351万円

森林整備対策事業費　176 万円
（前年度：339万円）

（ 担当：　農林課農政農産係）

森林の有する多面的機能を発揮させるための整備を行います。

- 森林境界明確化支援事業　23万円
  森林境界の調査を行います。
- 森林環境保全直接支援事業　48万円
  間伐を行います。
- 県単独森林整備事業　51万円
  間伐、枝打ちを行います。
- 森林整備地域活動支援交付金　35万円
  施業集約化促進のため路網改良を行います。
- とやま型冬期林業チャレンジ支援事業　15万円
  季節雇用となっている林業の担い手を通年雇用し、人材育成を図ります。
- 森林整備対策事務費　4万円

財源

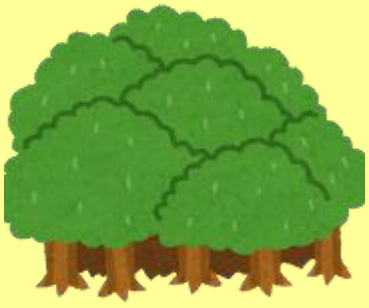
国県支出金	104万円
市の負担額	72万円

森林病害虫等防除事業費　172 万円
（前年度：6万円）

（ 担当：　農林課農地調整係）

森林病害虫等の、まん延及び森林資源への重大な損害の発生を防ぐため、森林の保全を図ります。

- 松くい虫伐倒駆除　64万円
  被害木を玉切り、被覆処理することにより、松くい虫を駆除します。
- 松くい虫樹幹注入　108万円
  健全木に薬剤を注入することにより、被害発生を防ぎます。



財源

国県支出金	145万円
市の負担額	27万円

林業事務費　155 万円
（前年度：164万円）

（ 担当：　農林課農政農産係）

森林の土地所有者の情報を管理するための林地台帳の整備や、林業団体等への支援を行います。

- 林地台帳整備業務　90万円
  森林法の改正に伴い、「森林GIS」（とやまの森づくり統合情報システム）の改修及びデータの作成業務を委託します。
- 森林GIS保守業務委託　11万円
- 林業団体等へ負担金　53万円
- 林業事務費　1万円

財源

国県支出金	45万円
市の負担額	110万円

漁業振興事業費　134 万円
（前年度：126万円）

（ 担当：商工水産課水産観光係）

漁業全般の振興を図ります。

- 漁港施設管理関係　39万円
  市で管理している漁業関連施設の消防点検などを行います。
- 各種補助金関係　68万円
  漁業関連事業を実施する各種団体に対して助成金、負担金、補助金を交付します。
- 漂流物廃棄処分委託料　3万円
  市内海岸に漂着した漂流物について、一定期間所有者が現れなかった場合に、処分を行います。
- 水産多面的機能発揮対策支援事業補助金（地元負担金分）　15万円
  滑川高校海洋科海洋クラブが水産多面的機能発揮対策事業として実施している藻場の保全活動事業に対し、助成します。

藻場とは？

海の中の海草や海藻が密生した場所を「藻場」といいます。
藻場には、魚の産卵の場になると同時に、生まれた稚魚にエサと住処を提供して大きく育てる「ゆりかご」のような役割や、海を浄化する役割等があり、藻場を増やすことは豊かな海を実現する事に繋がります。

助成の流れ

国70%
県15%
市15%　→交付→　100%　協議会　→交付→　100%　高滑校川

財源

市の負担額	134万円

内水面漁業対策費　41 万円
（前年度：41万円）

（担当：商工水産課水産観光係）

ニジマス釣りと手づかみ大会を開催したり、内水面漁業協同組合と協力して、市内の内水面漁業の活性化を目指します。

・ニジマス釣りと手づかみ大会開催費 21万円
行田公園でニジマス釣りと手づかみ大会を開催します。

・内水面漁業振興事業費補助金　20万円
内水面漁業を保護するため、中新川内水面漁業協同組合滑川支部へ補助金を交付します。

財源

市の負担額	41万円

栽培漁業振興対策費　172 万円
（前年度：172万円）

（担当：商工水産課水産観光係）

栽培漁業の推進のため、ヒラメやアワビの放流に対し助成します。

・栽培漁業振興対策事業補助金　172万円
漁業協同組合が魚の放流を行う場合に、魚の購入に必要な経費の一部を助成します。
（放流に要した経費の2/3を市が負担します。限度額86万円。）

栽培漁業とは?

人の手である程度の大きさまで飼育した魚を放流して、海で育って大きくなった後で獲る漁業を「栽培漁業」といいます。小さくて死にやすい時期を人間が育てるので生存率が高く、海の資源量を増やすことに繋がります。
滑川漁協ではヒラメ、クロダイ、クルマエビ、アワビ、サザエの５種を放流しています。

財源

市の負担額	172万円

漁業災害対策費補助金　471 万円
（前年度：486万円）

（担当：商工水産課水産観光係）

漁業経営の安定化を図るため、漁船保険や漁獲共済に加入している漁業者に対し助成します。

◇漁業災害防止対策事業

・漁船保険加入分　54万円
市に船籍を置いている漁業者が漁船保険に加入している場合、保険金の一部を支援します。
（保険金の20%を市が負担します。）

・漁獲共済掛金分　417万円
漁獲共済に加入している漁業者に対して、共済掛金の一部を支援します。
（掛金の20%を市が負担します。）

財源

市の負担額	471万円

【拡】漁港管理費

868 万円
（前年度:1,721万円）

（担当:　商工水産課水産観光係）

滑川漁港及び高月漁港の機能保全を行います。

- 漁港施設機能強化事業負担金　　525万円
  県が実施する漁港施設の機能強化事業の一部を市が負担します。
  （総事業費のうち、国が50%、県が35%、市が15%それぞれ負担します。）

- 漁港整備事業（県単独事業）に係る地元負担金　　160万円
  県が実施する漁港施設の整備事業の一部を市が負担します。
  （総事業費のうち、県が60%、市が40%それぞれ負担します。）

- 【拡】滑川漁港清掃委託料　　167万円
  滑川漁港の清掃業務を委託します。景観を良くするため、放置された廃棄物を処分するなど、環境美化を推進します。

- 漁港維持管理費　　16万円

財源

国県支出金	37万円
市の負担額	831万円